

平成28年11月25日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 曾根 喜明
島田市議会議員 大石 節雄
島田市議会議員 青山 真虎
島田市議会議員 桜井 洋子
島田市議会議員 佐野 義晴
島田市議会議員 平松 吉祝

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成 28年 11月 19日（土）
午後 7時 00分～午後 9時 00分
- 2 会場 島田市役所会議棟（大会議室）
- 3 参加者数 16人（男性 12人、女性 4人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 平松
 - (3) 挨拶（概要） 曾根
 - (4) 報告 桜井、大石、青山
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 佐野

5 報告事項

(1) 議会活動の報告について（主に、決算認定）

曾根議長より挨拶をかね議会活動の概要説明をした
政務活動費の活用について現況報告（透明度は高い）
11月定例会の日程説明

① 総務生活常任委員会（報告者 桜井）

- ・市税条例等の一部を改正する条例について
- ・ICTで人の流れを呼び込む教育産業づくり推進プロジェクトについて
- ・平成27年度、決算認定全般（一般会計及び特別会計）
- ・「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出を求める請願について

② 厚生教育常任委員会（報告者 大石）

- ・平成28年度一般会計補正予算について
- ・平成27年度、決算認定全般（一般会計及び特別会計）

③ 経済建設常任委員会（報告者 青山）

- ・市内視察（市道東町御請線）について
- ・所管事務調査（道の駅・世界農業遺産）について

④ 報告に対する質疑

問 介護予防、生活支援サービス事業について。

地域でボランティアするにあたって、趣旨は理解できるとして、市で補助金支給ができないか。

答 国の制度で難しいが、議会として研究する

問 敬老祝い金、1人900円の支給について、一人を対象にするのではなく町内全体としての別の有効活用はできないか

問 参加町内会長より、現況を支持する（何時も参加しない人が多数参加する）

答 現況を分析し、支給及び活用のあり方を考えたい

問 島田市は他市に比べて高齢者の「居場所づくり」事業が小さい
自治会・民生委員とか民間への呼び掛けができないか

答 定例会での質問課題とする

(2) 意見及び情報の交換について（今回はテーマ設定なし。）

- ・蓬萊橋のコンクリート脚を擬木のポールにできないか
- ・天徳寺西の天津谷川の堆積土砂を取り除き、子どもの遊び場づくりはできないか
- ・東光寺インターチェンジのフルインターはできないか
- ・新しい病院ができた場合の渋滞緩和はどうか

➡（議会側回答）

- ・一括で回答
- ・議員として知り得る、現況と状況を説明
- ・新病院のインフラの整備について、実施計画書に記載のあった内容を説明

政務活動費について

問 活動報告書に広報費の記載がないかどうか

答 議員の後援会活動費は活用の対象外 現実は大勢の議員が自己負担で発行している

問 前払いの支給を後払いにできないか

問 効果が期待できるなら増額してもよい

答 現在、議会改革特別委員会を立ち上げ調査、研究中（インターネットでの公開も検討）

事務局で管理を徹底的に行い、ロビーでも文書開示している

六合保育園について

- ・事業計画自体は理解できる、を前程に下記の質問があった
- ・第一回目の説明会が5月に行った（突然）、その後、少人数で役所を訪れた際、10月に説明会を行うことの確約を執ったが、その後音沙汰がない
- ・予定地は、道路が狭く朝晩の送り迎えが難しい
- ・過去の話として、その場所には墓地の移転の話があった
- ・その場所は、ロクティの駐車場で、それがなくなれば困る
- ・その場所には水防の貯水層が埋めてあり、それが無くなれば有事の際、住民の安心は確保できない
- ・事業の進め方が理解できない
- ・市民の見えないところで、話を進めている
- ・市民会館の跡地に保育園はできないか

➡（議会側回答）

- ・所管委員会でも議論している
- ・場所について、候補地であるが決定に至っていない
- ・市民会館の跡地を駐車場にできないか、とそこに保育園ができないかについての質問に、今の所、用途は未定

自治基本条例について

- ・条例内容を見るのに、意味の理解に苦しむ（市民等）
- ・パブコメ等の開示があっても、市民は現況では内容が理解できない
- ・当局がしないとすれば、議会として反対の立場の講師の招聘はできないか

➡（議会側回答）

- ・議員、会派等で議論はしている
- ・賛成、反対の立場の講師の招聘も視野に入れる

6 まとめ（所見）

- ・参加者のメンバーは常連が多い
- ・社会問題化している政務活動費について、必ずしも本市の現況を否定する意見はなかったが、改めて多角的な見方を知った
- ・情報の公開度を高める必要がある
- ・六合保育園建設に向けて、地域の人が連れ立って問題意識を持って参加結論とし、計画そのものには理解を示すものの計画の進め方にいきどおりを感じていた
- ・特定の人に情報が集中し、住民への公開度を高める必要がある
- ・議会としても、六合保育園をポイントで掴むことも去りながら、市政全般の中の一案件として調査、研究が必要